

ISSN 1880-1447



# Journal of Traditional Medicines

Vol.29, Supplement, 2012

<http://www.wakan-iyaku.gr.jp>

The 29th Annual Meeting of  
Medical and Pharmaceutical Society  
for WAKAN-YAKU

September 1-2, 2012

Kitasato University, Tokyo



和漢医薬学、  
さらなる高みへ

Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU



# 和漢医薬学会

Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU

## 第29回 和漢医薬学会学術大会 要旨集

- 会 期 平成 24 年 9 月 1 日 (土)・2 日 (日)  
会 場 北里大学薬学部コンベンションホール他 (東京都港区)  
大会長 花輪 壽彦 (北里大学東洋医学総合研究所)  
後 援 一般社団法人 日本東洋医学会  
一般社団法人 日本病院薬剤師会  
公益財団法人 日本薬剤師研修センター

# 日程表 9月1日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	ポスター会場	展示会場他
	コンベンションホール	1202	1203	1501	体育館	
8:00						
9:00	開会式 8:50～9:00 シンポジウム1 9:00～11:00 和漢医薬学とがん オーガナイザー(座長) 林 明宗 日向須美子 シンポジスト 日向須美子 清木育夫 元雄良治 林 明宗	9:00～12:15 日韓 WHO 伝統医学研究 協力センター4施設に よる国際シンポジウム		開会式モニター 8:50～9:00 シンポジウム1 9:00～11:00 モニター	8:30～10:00 ポスター貼付	9:00～17:00 商業展示 (1201) 北里柴三郎 記念室 (北里本館1階) 東医研資料 展示室 (東洋医学総合研 究所2階)
10:00					10:00～17:30 ポスター展示	
11:00	特別講演1 11:00～12:00 演者:小曾戸洋 座長:寺澤捷年			特別講演1 11:00～12:00 モニター		
12:00						
13:00		12:30～13:30 評議員会		12:30～13:30 ランチョンセミナー1 共催:株式会社ツムラ 座長:渡邊 登 演者:五十嵐康 岡原一徳		
14:00	13:45～14:10 総会			13:45～15:20 総会, 受賞講演 モニター		
	14:10～14:40 学会賞受賞講演					
	14:40～15:00 学会貢献賞受賞講演					
15:00	15:00～15:20 学会奨励賞受賞講演					
	15:30～16:30 特別講演2 演者:河野 透 座長:山田陽城			15:30～16:30 特別講演2 モニター		
16:00						
17:00	16:30～18:30 シンポジウム2 医療薬学で実践する 和漢薬研究 オーガナイザー(座長) 本間真人 赤瀬朋秀 シンポジスト 赤瀬朋秀 中村智徳 竹田秀一 杉山 清 本間真人	16:30～18:00 特別シンポジウム オーガナイザー(座長) 鳥居塚和生 シンポジスト 元雄良治 廣瀬康行 東郷俊宏 吉村大輔		16:30～18:30 シンポジウム2 モニター		
18:00					17:30～18:30 ディスカッ ションタイム	
19:00						18:30～20:30 懇親会 (学生食堂)
20:00						
21:00						

# 日程表 9月2日 (日)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	ポスター会場	展示会場他
	コンベンションホール	1202	1203	1501	体育館	
8:00						
9:00	9:00 ~ 11:00 シンポジウム 3 和漢医薬学と免疫 オーガナイザー (座長) 高橋秀実 清原寛章	9:00 ~ 9:45 □演 基礎研究 1	9:00 ~ 9:45 □演 基礎研究 3	9:00 ~ 11:00 シンポジウム 3 モニター	9:00 ~ 10:30 ポスター展示	9:00 ~ 15:00 商業展示 (1201)
10:00	シンポジスト 小暮敏明 高橋秀実 清原寛章 國澤 純	9:45 ~ 10:30 □演 基礎研究 2	9:45 ~ 10:30 □演 臨床研究など		10:30 ~ 11:00 ポスタープレゼンテーション (1-1 ~ 1-5)	北里柴三郎 記念室 (北里本館 1 階)
11:00	11:00 ~ 12:00 特別講演 3 演者: 尾崎 博 座長: 門脇 真			11:00 ~ 12:00 特別講演 3 モニター	11:00 ~ 12:00 学生発表 (ポスター発表)	東医研資料 展示室 (東洋医学総合研 究所 2 階)
12:00					12:00 ~ 12:30 ポスタープレゼンテーション (2-1 ~ 2-5)	
13:00				12:30 ~ 13:30 ランチョンセミナー 2 共催: 小太郎漢方製薬株式会社 座長: 小橋恭一 演者: 山國 徹	12:30 ~ 14:00 ポスター展示	
14:00	13:30 ~ 15:30 市民公開講座 座長 小田口浩 演者 鈴木邦彦 鳥居塚和生				14:00 ~ 14:30 ポスタープレゼンテーション (3-1 ~ 3-4)	
15:00					14:30 ~ 15:00 優秀発表賞表彰, 閉会式	
16:00				15:00 ~ 17:00 病院・開局薬剤師の ための漢方講座 座長 金 成俊 緒方千秋 演者 五野由佳理 佐橋佳郎 戸田哲司 小林義典	15:00 ~ 16:00 ポスター撤去	
17:00						
18:00						
19:00						
20:00						
21:00						

# プログラム

## 特別講演 1

1日(土) 11:00~12:00 A会場(コンベンションホール)

座長: 寺澤捷年(千葉中央メディカルセンター)

### SL1 漢方処方 of 史的変遷における諸問題

小曾戸洋

北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部

## 特別講演 2

1日(土) 15:30~16:30 A会場(コンベンションホール)

座長: 山田陽城(北里大学北里生命科学研究所)

### SL2 米国臨床治験薬になった漢方, その魅力と最新のエビデンス

河野透

札幌東徳洲会病院先端外科センター, 旭川医科大学外科学講座・消化器病態外科学分野客員准教授

## 特別講演 3

2日(日) 11:00~12:00 A会場(コンベンションホール)

座長: 門脇 真(富山大学和漢医薬学総合研究所)

### SL3 消化管炎症と運動機能障害: 運動と免疫機能を担う筋系細胞の生理と病態

尾崎博

東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室

## 学会賞受賞講演

1日(土) 14:10~14:40 A会場(コンベンションホール)

座長: 服部征雄(和漢医薬学会理事長)

### AL 脳血管障害に対する釣藤散の有効性

嶋田豊

富山大学大学院医学薬学研究部和漢診療学講座

## 学会貢献賞受賞講演

1日(土) 14:40~15:00 A会場(コンベンションホール)

座長: 並木隆雄(千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座)

### CL 和漢薬・伝承民間薬の作用点としてのカプサイシン受容体: 基礎研究による秘宝の探索

堀江俊治

城西国際大学薬学部薬理学研究室

## 学会奨励賞受賞講演

1日(土) 15:00~15:20 A会場(コンベンションホール)

座長: 雨谷 栄(日本薬科大学薬学部薬学科)

### IL-1 薬物代謝酵素および抗酸化酵素の発現調節に影響を及ぼす和漢薬

大沼友和

東京薬科大学薬学部薬物代謝安全性学教室

### IL-2 熟大黄および酒大黄の本質について

堂井美里

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科・株式会社ウチダ和漢薬

## シンポジウム

### シンポジウム 1

1日(土) 9:00～11:00 A会場(コンベンションホール)

オーガナイザー：林 明宗(神奈川県立がんセンター脳神経外科・漢方外来)  
日向須美子(北里大学東洋医学総合研究所臨床研究部)

#### 和漢医薬学とがん

- S1-1 漢方薬によるがんの再発・転移防止療法をめざして～基礎研究から臨床応用へ～  
日向須美子  
北里大学東洋医学総合研究所
- S1-2 漢方薬によるがん転移の抑制とその機序  
濟木育夫  
富山大学和漢医薬学総合研究所病態生化学分野
- S1-3 集学的・全人的がん医療における和漢医薬学の役割  
元雄良治  
金沢医科大学腫瘍内科学
- S1-4 がん治療合併症緩和に対する紫雲膏の臨床応用  
林 明宗  
神奈川県立がんセンター脳神経外科・漢方外来

### シンポジウム 2

1日(土) 16:30～18:30 A会場(コンベンションホール)

オーガナイザー：本間真人(筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床薬剤学)  
赤瀬朋秀(日本経済大学大学院)

#### 医療薬学で実践する和漢薬研究

- S2-1 漢方薬の医薬品情報を創る  
赤瀬朋秀  
日本経済大学大学院
- S2-2 医療現場での和漢薬の適正使用に向けたエビデンス構築  
中村智徳  
群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学分野
- S2-3 作用メカニズム解明を目指した大建中湯の薬物動態試験  
竹田秀一  
株式会社ツムラ信頼性保証本部
- S2-4 現代医療における漢方薬の適正使用について  
－特にチトクロムP450 (CYP) に及ぼす漢方薬の影響－  
杉山 清  
星薬科大学薬動学教室
- S2-5 漢方エキス製剤の副作用に関する解析研究  
本間真人  
筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床薬剤学

2日(日) 9:00～11:00 A会場(コンベンションホール)

## シンポジウム 3

オーガナイザー: 高橋秀実(日本医科大学微生物学免疫学教室,  
日本医科大学付属病院東洋医学科)

清原寛章(北里大学北里生命科学研究所和漢薬物学研究室)

### 和漢医薬学と免疫

#### S3-1 漢方薬による免疫調節 —RAへの臨床応用—

小暮敏明

社会保険群馬中央総合病院和漢診療科

#### S3-2 自己免疫性肝炎, SLEに合併した血小板減少性紫斑病に奏功した温病をベースとした東洋医学的治療

高橋秀実<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>日本医科大学微生物学免疫学教室, <sup>2</sup>日本医科大学付属病院東洋医学科

#### S3-3 補中益気湯の作用の腸管免疫系からの解析

○清原寛章<sup>1,2,3</sup>, 関谷路子<sup>1</sup>, 西本裕紀<sup>2</sup>, 永井隆之<sup>1,2,3</sup>, 丸山弘子<sup>4</sup>, 山田陽城<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>北里大学大学院感染制御科学府, <sup>2</sup>北里大学北里生命科学研究所和漢薬物学研究室, <sup>3</sup>北里大学東洋医学総合研究所基礎研究部, <sup>4</sup>北里大学医療衛生学部病理学研究室

#### S3-4 冬虫夏草関連化合物FTY720を起点とした腸管免疫研究の最前線

國澤 純

東京大学医科学研究所炎症免疫学分野

1日(土) 16:30～18:00 B会場(1202)

## 特別シンポジウム

オーガナイザー: 鳥居塚和生(昭和大学薬学部生薬学植物薬品化学)

### ISOにおける国際標準化の現状と課題そして展望: ISO/TC215 および ISO/TC249 の国際的な動きと JLOM の活動内容

#### SS-1 ISO/TC249における伝統医学の国際標準化の動向と日本の対応

元雄良治<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>金沢医科大学腫瘍内科学, <sup>2</sup>JLOM ISO/TC249 担当

#### SS-2 ISO/TC215 Health Informaticsにおける国際標準化の動向と日本の対応 ～ TC215とTC249との関係を踏まえた戦略と実践躬行

廣瀬康行

琉球大学医学部附属病院医療情報部

#### SS-3 鍼灸領域における国際標準化の背景と現況

東郷俊宏

東京有明医療大学保健医療学部

#### SS-4 伝統的医学の国際標準化活動へ期待するもの

吉村大輔

経済産業省産業技術環境局環境生活標準化推進室

---

## 日韓 WHO 伝統医学研究協力センター 4 施設による国際シンポジウム

1 日 (土) 9:00 ~ 12:15 B会場 (1202)

オーガナイザー: 小田口浩 (北里大学東洋医学総合研究所 EBM センター)

---

Opening address: Toshihiko Hanawa (Kitasato University)

### Session I

Chair: Yutaka Shimada (University of Toyama)

**JKS-1 Introduction of East-West Medical Research Institute (EWMRI) ,  
Kyung Hee University**

Keon-Sik Kim

East-West Medical Research Institute, Kyung Hee University, Seoul, Korea

**JKS-2 Natural Products Research Institute, Seoul National University**

Sang Kook Lee

Natural Products Research Institute, Seoul National University, Seoul, Korea

Chair: Ki-Ho Cho (Kyung Hee University)

**JKS-3 Introduction of Oriental Medicine Research Center (OMRC) ,  
Kitasato University**

Toshihiko Hanawa

Oriental Medicine Research Center, Kitasato University, Tokyo, Japan

**JKS-4 Introduction of Department of Japanese Oriental Medicine, Graduate School  
of Medicine and Pharmaceutical Sciences, University of Toyama**

Yutaka Shimada

Department of Japanese Oriental Medicine, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences,  
University of Toyama, Toyama, Japan

### Session II

Chair: Tetsuro Oikawa (Kitasato University)

**JKS-5 Systematic strategy for standardization of herbal medicine in Korea**

Yeong Shik Kim

College of Pharmacy/Natural Products Research Institute, Seoul, Korea



---

**JKS-6 Acupuncture for whiplash-associated disorder: A randomized, waiting-list controlled, pilot trial**

Sang-Hoon Lee

Department of Acupuncture and Moxibustion, College of Oriental Medicine, Kyung Hee University, Seoul, Republic of Korea

**JKS-7 New attempt to develop the standardized herbal medicine**

Hyuck Jai Choi

East-West Medical Research Institute, Kyung Hee University, Seoul, South Korea

**Chair: Yeong Shik Kim (Seoul National University)**

**JKS-8 Evidence-based efficacy of Kampo formulas in a model of non alcoholic fatty liver**

Makoto Fujimoto

Department of Japanese Oriental Medicine, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences, University of Toyama, Toyama, Japan.

**JKS-9 A possible mechanism underlying an antidepressive-like effect of kososan, a Kampo medicine, through the hypothalamic orexinergic system in the stress-induced depression-like model mice**

Naoki Ito

Department of Clinical Research, Oriental Medicine Research Center, Kitasato University, Tokyo, Japan

**JKS-10 Current trends of clinical research and introduction of a new design for clinical trial in Kampo Medicine**

Hiroshi Odaguchi

Oriental Medicine Research Center, Kitasato University, Tokyo, Japan

**Closing remarks: Yeong Shik Kim (Seoul National University)**

---

## ランチョンセミナー 1

(共催：株式会社ツムラ)

1日(土) 12:30～13:30 D会場(1501)  
座長：渡邊 登(駿河台日本大学病院精神医学分野)

---

### 認知症治療の漢方からのアプローチ

#### LS1-1 抑肝散の作用について

五十嵐康  
株式会社ツムラ・ツムラ研究所

#### LS1-2 認知症診療における抑肝散の有効性と安全性について

岡原一徳  
医療法人慶明会けいめい記念病院 副院長

---

## ランチョンセミナー 2

(共催：小太郎漢方製薬株式会社) 座長：小橋恭一(富山大学名誉教授)

2日(日) 12:30～13:30 D会場(1501)

---

#### LS2 ノビレチン高含有陳皮エキスの抗認知症作用

山國 徹  
東北大学大学院薬学研究科薬物療法学分野

---

## 市民公開講座

2日(日) 13:30～15:30 A会場(コンベンションホール)

座長：小田口浩(北里大学東洋医学総合研究所 EBM センター)

---

#### PL-1 現代における東洋医学の役割

鈴木邦彦  
北里大学東洋医学総合研究所漢方診療部

#### PL-2 漢方薬・生薬のユニークな作用

鳥居塚和生  
昭和大学薬学部生薬学植物薬品化学・薬用植物園

---

## 病院・開局薬剤師のための漢方講座

2日(日) 15:00～17:00 D会場(1501)

座長：金 成俊(横浜薬科大学)  
緒方千秋(北里大学東洋医学総合研究所)

---

#### KL-1 大学病院における漢方診療の取り組み

五野由佳理  
北里大学病院総合診療部

#### KL-2 病院薬局における漢方調剤の取り組み

佐橋佳郎  
福島県立医科大学会津医療センター準備室(東洋医学)

#### KL-3 開局薬局での漢方調剤の取り組み～漢方相談専門薬局の処方箋応需について～

戸田哲司  
株式会社高島堂薬局

---

---

KL-4 北里大学薬学部における漢方医薬学教育

小林義典

北里大学薬学部生薬学教室

## 優秀発表賞

ポスター	五十嵐 信智	星薬科大学薬動学教室	セッコウの皮膚アクアポリン3発現増加メカニズムの解明
	坂本 唯真	熊本大学大学院生命科学研究部薬物活性学分野	アクアポリンによる炎症反応の亢進作用と和漢薬の効果
	松永 智子	富山大学和漢医薬学総合研究所神経機能学分野	アルツハイマー病モデルマウスを用いたEleutheroside BおよびEleutheroside E の記憶改善効果の検討